

横浜市が、神奈川県オールトヨタ販売店等7社、現代自動車ジャパンと 燃料電池自動車普及促進に向け、連携協定を締結！

このたび、横浜市は、神奈川県オールトヨタ販売店等7社^{※1}、現代自動車ジャパン株式会社と、「燃料電池自動車普及啓発に係る協定」を締結しました。

本協定に基づき、燃料電池自動車（以下「FCV」）のPR等に連携して取り組み、横浜市におけるFCVの普及促進につなげていきます。

※1 神奈川トヨタ自動車株式会社、横浜トヨペット株式会社、トヨタカローラ神奈川株式会社、ネットトヨタ神奈川株式会社、株式会社トヨタレンタリース神奈川、株式会社トヨタレンタリース横浜、トヨタ モビリティパーツ株式会社神奈川支社（協定書の記載順）

1 概要

横浜市は、横浜市地球温暖化対策実行計画^{※2}に基づき、産業・業務・家庭・運輸等、様々な分野において、水素が日常的に利用される「水素社会の実現」に向け、事業者・行政等の連携により、水素エネルギーの積極的な導入と利活用を図っています。

この施策の一つとして、FCVの普及促進に取り組んできました。この取組をより一層加速していくため、国内でFCVを取り扱う事業者様に連携による普及啓発を呼びかけ、このたび、神奈川県オールトヨタ販売店等7社様及び現代自動車ジャパン株式会社様と連携協定を締結することになりました。

今後は、今回協定を締結した事業者様と連携した様々な取組を展開していくとともに、事業者等との連携の輪をさらに拡大し、FCVの普及促進につなげていきます。

※2 「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づく法定計画として、平成23年3月に策定され、平成30年10月に最新の改定が行われています。改定後の計画では、パリ協定・SDGs採択後の世界の潮流や、国の地球温暖化対策計画・適応計画の策定、気候変動の影響等を踏まえ、本市の温暖化対策（緩和策・適応策）・エネルギー施策の更なる強化が図られています。

2 協定締結日

令和2年12月16日（水）

3 主な連携内容

- (1) FCVに係る情報発信やPR活動、市の事業に係る広報（補助制度やイベントの事前告知等）
- (2) FCVの普及啓発イベントの実施
- (3) 横浜市域内で行われる各種イベントでのFCVの展示、FCVの車両性能や補助制度等を紹介するブースの出展

4 今後の具体的な取組

- ・試乗会の実施（令和3年2月23日（火・祝）予定）
- ・FCV展示等イベントの実施（令和3年4月29日（木・祝）予定）

※上記の試乗会、FCV展示等イベントの実施時期については、変更する場合がございます。

上記以外のイベント、取組については、開催時期に合わせ、HP等でお知らせします。

裏面あり

《参考》協定を締結する事業者の概要

【神奈川県オールトヨタ販売店】



写真提供：トヨタ自動車（株）

MIRAI（ミライ）

トヨタ自動車では、平成 26 年末の F C V 「MIRAI（ミライ）」の市場投入を皮切りに、モビリティ分野における水素の利用促進について取り組んでいます。令和 2 年 12 月 9 日には「MIRAI」の新型モデルが発表されました。新型「MIRAI」は、12 月 19 日にオープンするガンダムファクトリーを始め、横浜各所で展示が行われます。

【現代自動車ジャパン株式会社】



写真提供：Hyundai Motor Company

NEXO（ネッソ）

Hyundai Motor Company では、平成 30 年に F C V 「NEXO（ネッソ）」を世界市場に投入し、グローバルで約 1 万台の累積販売実績があります。現在、国内では令和 2 年 6 月よりカー・シェアリングを利用して、「NEXO」を体験することができます。

《参考》燃料電池自動車の仕組み

水素と空気中の酸素を化学反応させて電気を作る「燃料電池」を搭載し、そこで作られる電気を動力源としてモーターで走行します。



- 特徴：**
- ① 環境に優しい・・・走行中に二酸化炭素、有害なガスの排出がゼロ。水のみ排出します。
 - ② 快適・・・ガソリン車と比べて、静かで振動も少ないです。発進も力強く、加速もスムーズです。
 - ③ 使いやすい・・・水素燃料の補給時間はガソリン車と同じ、走行距離も同じかそれ以上です。

お問合せ先

環境創造局環境エネルギー課長

大島 貴至

Tel 045-671-2666